



作詞作曲 知名定男

ゆっくり終わります

合	申
中	合
尺	六
○	七
(尺)	中
合	合
工	老
六	四
○	中
(六)	○
工	(申)
六	合
合	六
四	七
○	○
	(七)

上	上
老	上
四	上
○	四
合	上
上	中
中	四
○	○
合	老
老	四
四	中
中	尺
○	中

合	上
中	中
尺	上
○	○
老	合
四	老
中	四
○	中
中	に
六	六
七	七
尺	尺
中	中
○	尺

工 ←

中	中
工	尺
尺	工
中	尺
○	中
合	な
老	中
四	中
中	六
○	七
六	工
七	尺
尺	中
中	中
○	な

四番最後の繰り返し&後奏

上	合
六	中
四	尺
○	上
(四)	老
合	四
上	中
中	中
○	○
	(申)
	合
	六
	七
	尺
	中

●二番、四番の歌い出しへ

工 ←

中	中
尺	尺
工	中
尺	中
中	○
○	(中)
合	合
老	老
四	四
中	中
○	○
(中)	(申)
	六
	七
	工
	尺
	中
	○
	(中)

間奏A

上	上
老	上
四	上
○	四
合	四
上	四
中	四
○	○

間奏Aへ ↓最初(唄持ち)へ

合	上
中	中
尺	上
○	○
老	合
四	老
中	四
○	中
中	が
六	中
七	が
尺	が
中	が
○	が

一、でいぐぬ花咲ちゆる

うりずんぬ頃(くる)や

変(かわ)てい思里(うみさとう)が  
なちかさぬならん

切りなさや 切りなさや

里(さとう)が情(なさき)

デイゴの花咲く

うりずん(旧暦2〜3月)の頃は

とりわけて愛しいあの人が

懐かしくてならない

つれないことよ つれないことよ

あの人の情け

【間奏A】

二、月(ちち)ぬ山ぬ端(は)に

上がる夕問暮(ゆまんぎ)や

肝(ちむ)にひしひしと

淋(さび)さうらちらさ

覚(う)びじやすさ 覚(う)びじやすさ

里(さとう)が姿(しがた)

月が山際に

あがる夕方は

心がひしひしと

さびしく、うら悲しいことよ

思い出すよ 思い出すよ

あの人の姿

【唄持ち】

三、磯(いす)ばため千鳥(ちどり)

たんでい立ち呉(くい)るな

ただねちよん淋(さび)さ

しちよてい暮らちよしが

暮らさらん 暮らさらん

里(さとう)が事思(くとううむ)れ

磯端の千鳥よ

頼むから鳴いてくれるな

ただでさえ寂しく

暮らしていくのだが

暮らしていけない生きていけない

あの方の事を想うと

【間奏A】

四、千鳥(ちどり)ちゆいちゆいな

我身(わみ)んただ一人(ひちゆい)

共(とうむ)に泣ち明かち

里(さとう)ゆ偲(しぬ)ばなや

チュイチュイな チュイチュイな

千鳥(ちどり)チュイチュイな

チュイチュイな チュイチュイな

共(とうむ)にチュイチュイな

千鳥がチュイチュイと鳴いている

私はただ一人

一緒に泣き明かし

あの人のことを偲びたいね

チュイチュイな チュイチュイな

千鳥チュイチュイな

(共にチュイチュイと泣いては

あの人を思い、泣いている)

【四番最後の繰り返し&後奏】